

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
TEL. 03-3433-5391 FAX. 03-3434-3354

西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市不桑町 1-10 住友精密工業（株）本社内
TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

第 19 回定時総会開催される

第 19 回定時総会が 5 月 17 日（木）15：30 ～ 16：00 頃までの間、東京プリンスホテル「サンフラワーホール」において開催されました。はじめに永久議長は、総会への会員企業の出席状況について事務局に説明を求め、事務局から「永久会長以下理事・監事等正会員企業から 42 社、55 名の出席が、また、委任状提出会員企業が 17 社あり、定款の定めるところにより第 19 回定時総会は有効に成立している。」旨報告しました。さらに本定時総会には、賛助会員企業からも 10 社、13 名の皆様方が出席されたほか、来賓として、経済産業省製造産業局産業機械課の渡部係長が陪席されました。



第 19 回定時総会（東京プリンスホテル）
その後、議長は、定款第 19 条に基づき議事録署

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 19 回定時総会開催・・・・・・・・・・ 1	技術調査事業・・・・・・・・・・ 7
委員会開催・活動状況	その他事業・・・・・・・・・・ 7
国際交流事業・・・・・・・・・・ 4	工業会ニュース・・・・・・・・・・ 7
標準化事業/ISO 対策事業・・・・・・・・ 5	今後の主要行事・・・・・・・・・・ 8
標準化事業／規格事業・・・・・・・・ 6	統計資料・・・・・・・・・・ 10

(一社) 日本フルードパワー工業会
URL <http://www.jfpa.biz/>

名人2名を指名した後、議事次第に沿って審議を進め、第1号議案及び第3号議案は承認され、第2号議案の報告は了承されました。

議事次第

第1号議案

平成29年度事業報告書及び決算報告書(案)の件

第2号議案

平成30年度事業計画書及び収支予算書の件

第3号議案

理事・監事改選の件

第1号議案の「平成29年度事業報告書及び決算報告書」(案)について、事務局から配布資料1-1号、1-1-1号、1-2号により主要実施事業の概要を説明した。

次に、決算報告書(案)について①収支計算書②貸借対照表③正味財産増減計算書③財産目録等について詳細な説明をした。

議長は監事に監査報告を求め、監事を代表して松井監事より監査結果について「妥当かつ正確であった」旨の報告があり、その後、議長は本案を議場に諮り異議なく承認された。(詳細は月報4月号を参照ください。)

第2号議案の「平成30年度事業計画書及び収支予算書」について、事務局より配布資料2号を用いて主要事業の概要を説明した。また、平成29年度決算の確定に伴い本年4月20日に開催された理事会で、1月の理事会にて承認された平成29年度収支予算書の一部を変更した。予算規模総額が123百万円強、事業費総額81百万円弱・管理費総額39百万円弱の予算を説明した。議長は本案を議場に諮り異議なく了承された。

第3号議案の「理事・監事の改選」の件について、事務局より配布資料3号を用いて説明した。議長は本案を議場に諮り異議なく承認された。議長は総会の終了を宣言した。

その後、事務局から新役員を選出するために選任された理事を含めた臨時理事会を開催したい旨提案し、また、臨時理事会終了後に新役員体制等を報告する必要があるため皆様方にはしばしこの場でご休息していただきたい旨のお願いをした。その後、別室で臨時理事会を開催し、新会長には、石川 孝(株)TAIYO代表取締役社長(新任)を、新副会長として中島康輔 KYB(株)代表取締役社長を(新任)、宮内寿一甲南電機(株)代表取締役会長を(重任)、十万幹雄神威産業(株)代表取締役社長を(重任)、さらに副会長兼西日本支部長として田岡良夫住友精密工業(株)代表取締役社長を(新任)選任した。その後、総会会場に戻り、新しい役員の選任を報告し、永久前会長は当会の

顧問に就任した。その後、永久前会長から退任挨拶があり、永久前会長、臼井前副会長、北畠前副会長に記念品を贈り、報告会を終了した。なお、石川新会長の就任挨拶は、懇親会冒頭に行うこととした。

その後、17:00から2Fの「マグノリアホール」に場所を移し祝賀懇親会を開催した。

祝賀懇親会では、はじめに石川新会長が開会の挨拶を行った後に来賓を代表して経済産業省製造産業局担当の三田紀之審議官よりご挨拶をいただき、懇親会が始まった。会場内は会員企業をはじめ学会、官界・当会顧問・関係団体・報道関係・当会会友の方々等200名以上の多数の皆様方が参集し懇親を深められ、18:40頃に和気あいあいのうちに散会しました。石川新会長の挨拶は以下の通りです。

(新会長ご挨拶)

皆さんこんばんは。只今ご紹介にあずかりました、株式会社TAIYOの石川です。先ほどの臨時理事会におきまして、永久前会長の後任として会長に選任されました。どうぞよろしくお願ひいたします。本日はご多忙にも拘りませず、会員各社の皆様方、経済産業省、報道関係、関連団体の皆様方から多数のご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。



挨拶をする石川新会長

さて、本題に入ります前に、私たちの置かれている業況、世界の政治情勢、あるいは国内の景気の状態といったものについて、簡単に触れさせていただきたいと思ひます。新聞紙上で既によくご存じのことと思ひますが、世界の政治情勢はこの東アジア、朝鮮半島を中心に大変目まぐるしい動きが始まっております。年明けの平昌オリンピックでの韓国と北朝鮮の合同チーム発足から始まり、その後の電撃的な両国の首脳会談、更には2

度にわたる中朝首脳会談を経て、米朝首脳会談も実施される予定となっております。しかしながら、昨今目まぐるしく変わる政治情勢を鑑みますと、これもまだまだ予断を許せない状況にあるのかな、という風に考えております。特に、こういった一連の動きが、最終的にもたらしめず結果については、私たちは平和裏に終わるということを願っているわけですが、注意深く見守っていかねなければいけないことでもあると感じております。

一方、中東に目を向けますと、米国のイラン核合意からの離脱表明やイスラエルの米国大使館をエルサレムに移転するなどといったことなどがなされまして、我が国のエネルギー供給問題なども絡みまして、こちらも大きな変化を与える要因の一つになりかねないとも考えております。そういった変化の激しい世界情勢ではありますが、その一方、我が国の経済全般に関して申しますと、おおむね順調に推移している見方が適切ではないかと見ております。世界的なIT需要の高まり、更には世界の好景気、そして円安を基調としたトレンドにより輸出が堅調に伸びております。また、国内の設備投資につきましても、劣化した設備の更新需要も引き続き根強いものがあり、また、人手不足を背景とした省力化のための投資も力強い動きがあると認識しております。つい昨日発表のありました、1～3月期のGDPでございますが、2年3か月振りにマイナス成長となったというものの全体を通してみれば、今年一年1%を超える成長が予想されております。ということで、私たちを取り巻く経済環境は、まずまずの好ましい環境にあるのではないかと見ております。

そのような中、2018年度フルードパワー産業、油圧、空気圧のそれぞれの成長は、大変素晴らしいものがあったと思っております。工業会が発表しております成長は分野ごとに多少の濃淡はありますが、油圧機器全般では、対前年度比19.5%増、空気圧はそれ以上の23%増という記録をいたしました。大変すばらしい伸びではなかったかと思えます。一方今年も、そういう好調な景気もあって、生産能力に近い生産活動を続けられているということもあって、工業界全体の伸びは、5.8%増という前年度に比べますと穏やかな数字を予測させてもらっております。

このような好調な経済環境下にありましても、私が考えますに、私どもフルードパワー工業会は、このような適温経済の中に安住してしまったり、そこから歩みを止めてしまったりすることは大いに注意をしなくてはいけないでしょう。先ほど述べました激動の政治情勢があるわけでありませんが、その一方で技術の世界においても大変大きな

変化が起こっている気がします。先ほど経産省片岡課長からの総会場でコネクテッドインダストリーの話がありました。すべてのものが繋がっていくIoT、あるいはAI、ビッグデータを高度に活用していくようなことが大変なスピードで起こっていくように思います。我々フルードパワーにかかわる者にとりましても、このような変化に決して無縁ではなく、変化に対して真摯に捉えて対応していくことが求められるのではないかと考えております。フルードパワーは、非常に古くからの技術ではありますが、所謂モーションをコントロールするというにおきましては、今後ますます進化するであろう高度情報化社会においても、やはり電動とともに主役であり続けるし、主要な役割を担っていく産業であると考えております。やはり、フルードパワーに携わる者に求められるものは、今後起こっていくであろう社会の変化をしっかりととらえて、新しい時代にふさわしい技術を生み出し、また新しい時代に即した付加価値を創造していくことが求められるのではないかと思います。そういった活動を通しまして、フルードパワー産業として、社会に貢献することができればと考えております。

私も会長として甚だ若輩者ではございますが、日本のフルードパワー産業発展のために、尽力してまいりたいと考えております。どうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本日、此処にご臨席の皆様方の益々のご健勝と会員各社様の更なるご発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

(上田審議官ご挨拶)

また、上田洋二審議官から以下のご挨拶をいただきました。



挨拶をする上田審議官

皆さん、こんばんは。経済産業省の上田です。本日は、日本フルードパワー工業会懇親会にお招

きいただきまして、ありがとうございます。一言ご挨拶させていただきます。

安倍政権発足して、5年経ちまして、名目 GDP は 55 兆円の増加をしております。企業の経常利益も、過去最高水準となる 81 兆円という記録になりました。また、政府におきましては、2020 年までの 3 年間で生産性革命を進めるための政策を総動員させているところであります。また、賃上げや設備投資、人材育成、IoT 投資などに積極的な企業に対して、法人税の負担を最大 10%程度まで引き下げる制度をやっております。是非ご活用いただければと思います。第 4 次産業革命が、進んでいく中で、やはりスピーディな経営判断と新技術の社会実装といったことがこれからの鍵になるのではないかと考えております。政府といたしましても、規制のサンドボックス制度創設でありますとか、企業の革新的なサービス、ビジネスモデルの創出、こういったものをしっかりと後押ししていきたいと考えております。また、複数企業が、協調領域でデータ収集・活用を行う取り組みに対しても支援をしていく制度の創設も行っております。第 4 次産業革命のような急激な環境変化の中で、人生 100 年時代に対応した人材育成が必要になってきます。最近言われておりますリカレント教育の推進なども産業界と共に推進していきたいと考えております。

さて、先ほどの会長のご挨拶にもありましたが、国際的にも非常に大きな動きがあります。TPP の早期発効ですとか、日 EU EPA の早期署名、質の高い RCEP の妥結に向けて一層努力していきたいと考えております。また、アメリカの鉄鋼・アルミの輸入制限措置に対して、WTO ルールに従い除外するよう引き続き働きかけをしていきます。話が変わりますが、2025 年の大阪万博開催について、開催地決定まで約半年という状況になっております。これからが正念場だと思っておりますので、オールジャパンでの誘致を勝ち取っていききたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。

フルードパワー業界においては、先ほど会長からもお話がありましたが、順調の状況だと聞いておりますし、大いに期待しているところであります。他方、人手不足感が強まる中、このピンチを逆にチャンスに変換すべく、業界の方々がこれまで培われてこられた技術やノウハウを生かしつつ、IoT、AI などの新しい技術を取り込んだビジネス展開によって、新しい市場の獲得に向けてリスクを恐れずに是非挑戦をしていただきたいと思いますし、経済産業省としてもしっかりと後押しさせていただければと思っております。

最後になりましたが、永久前会長の後を受けられました石川新会長の下に業界の皆様方が一丸となって、フルードパワー産業の発展と我が国機械産業の信頼性の一層の向上や競争力の強化につながることを祈念して私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。



懇親会場（マグノリアホール）

第 57 回 JPPA 親善ゴルフ大会

総会翌日の 5 月 18 日（金）に程ヶ谷ゴルフ倶楽部において標記親善ゴルフ会を開催しました。当日はスタート時から絶好のプレー日和で、宮内副会長以下総勢 24 名が参加し、9:30 に OUT3 組・IN3 組で同時にスタートしました。当日は絶好のゴルフ日和でしたが、スコアに十分満足した方や不本意な方も多々いたようです。プレーは順調に進行し、午後 3:00 頃に無事終了しました。

委員会開催・活動状況報告

（詳細については各担当者にご照会下さい）

~~~~~

#### 国際交流事業

~~~~~

欧州建設事情 (INTERMAT2018) 視察団報告会

日 時 5 月 17 日（木） 14:00~15:20

場 所 東京プリンスホテル 3 階

「ゴールデンカップ」

発表者 吉田団長以下 14 名、聴講者：15 名

事務局 藤原、鎌原、堀江 合計 29 名

藤原専務の挨拶の後、吉田団長から視察団派遣の全体概要説明が行われ、続いて INTERMAT2018 建設機械見本市のショベル中心、各種建機、建機用油圧機器他についての報告及びロンドン五輪跡地の再開発工事現場視察、JETRO パリ事務所、ロンドン事務所訪問の内容について視察団員か

ら報告された。聴講者各位のアンケートでは、建機の電動化が進んでいる事、IoT、AI等最新技術の取組みに注力の必要性、オリンピック跡地の変貌やフランス、イギリスの概況などが分かり易く報告されたとのことをご意見を頂いた。



吉田団長による全体概要説明

会議場のイギリス規格協会 (BSI)



会議の様子

油空圧継手・ホース分科会

日 時 5月24日(木) 13:30~16:30

場 所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 板井主査以下 6名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、前年度活動実績と今年度活動計画について主査より説明がなされ、分科会活動内容について確認した。

次いで、投票に掛かっている案件について審議した。ISO/CD 19879 は、日本にとって特に問題のない内容につき Approval にて投票することとした。また、ISO/FDIS 8434-1 は、技術的な内容は審議し尽されており特に問題ないため Approval にて投票することとした。

次いで、今月開催された ISO ロンドン国際会議から継手ホース分科会に関連する項目について事務局より報告し情報共有した。

次いで、ISO/TS 17165-2 の工業会規格化について討議した。

次いで、ISO 1179-1 (油圧用ポート) の JIS 化について討議した。継手メーカー及び油圧機器メーカーに調査したところ、本 ISO 規格は日本では一般的ではないとの意見が多く、結論として JIS 化はしないこととした。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。改訂されている規格の反映および図表の訂正等の指摘が出され、各委員からの意見を集約し本分科会のまとめとすることとした。

次回開催：8月23日(木) 機械振興会館

発行された ISO 規格

(TC131)

ISO 11943 : Hydraulic fluid power -- Online automatic particle-counting systems for liquids -- Methods of calibration and validation

~~~~~  
標準化事業／ISO 対策事業  
~~~~~

* ISO の動き

ISO/TC131 ロンドン国際会議

5月14日から18日までイギリス・ロンドンにおいて開催された。

会議は、TC131、TC131/WG4、SC1/WG1、SC1/WG2、SC1/WG4、SC4/WG9、SC5、SC5/WG2、SC5/WG3、SC5/WG5、SC8、SC8/WG10、SC8/WG13、SC9/WG1、SC9/WG2、の各分科会が開催された。

日本からは、眞田教授(横浜国立大)、馬場委員(ボッシュ・レックスロス)、浦井委員(ボッシュ・レックスロス)、妹尾委員(SMC)、町田委員(東京計器)、大野アドバイザー(JFPA)の6名が参加した。

会議の詳細については、後日、報告書を作成・発行します。



ISO 6164 : Hydraulic fluid power -- Four-screw, one-piece square flange connections for use at pressures of 42 MPa, DN 25 to 80

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS) (TC131)

ISO 16889/DAmD 1 : Hydraulic fluid power -- Filters -- Multi-pass method for evaluating filtration performance of a filter element -- Amendment 1

ISO/DIS 5598 : Fluid power systems and components -- Vocabulary

ISO/DIS 6301-2 : Pneumatic fluid power -- Compressed-air lubricators -- Part 2: Test methods to determine the main characteristics to be included in supplier's literature

~~~~~  
**標準化事業／規格事業**  
~~~~~

JIS 原案作成本委員会

日 時 5月9日(水) 13:30~16:00

場 所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 北川委員長以下 7名

事務局 前畑

議 事

北川委員長(東京工業大学名誉教授)開会挨拶、委員自己紹介の後、「JIS B 9938 難燃性作動油の使用指針」の JIS 原案の審議を行った。審議の結果、元となる ISO 規格に記載ミスや JIS 化する際の翻訳として意識しなければならない部分があるため、IDT にするか MOD にするかを日本規格協会と調整し、各委員からの指摘事項について修正した後、提出することとした。

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 5月23日(水) 13:30~16:30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 浅里主査以下 5名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、前年度活動実績と今年度活動計画について主査より説明がなされ、分科会活動内容について確認した。

次いで、ISO/DIS 14743 の投票結果について討議した。日本からの提案については、プロジェクトリーダーの見解として、5項目中4項目が提案を受け入れられているが、最終的にはロンドン国際会議にて審議されており日本は都合により参

加できなかったため、議事録が発行され次第確認することとした。

JIS B 8381-1 の改正について審議した。各委員にて行った継手サイズ調査結果に基づき、規格本文の見直しに着手した。特に、現行 JIS にない箇条が ISO 規格には追加されているため、その部分に関しての文面の検討を行った。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。締込継手の試験項目追加、定格圧力の追記等の意見が出され、各委員からの意見を集約し本分科会のまとめとすることとした。

次回開催：8月29日(水) 機械振興会館

空気圧調質機器分科会

日 時 5月30日(水) 13:30~16:30

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 國崎主査以下 4名

事務局 前畑

議 事

委員の交代があり、主査が小田元主査(甲南電機)から國崎新主査(CKD)に交代した。

前回議事録の確認後、前年度活動実績と今年度活動計画について主査より説明がなされ、分科会活動内容について確認した。

次いで、今月開催された ISO ロンドン国際会議から調質機器分科会に関連する項目について報告あり情報共有した。特に、懸案であったサイレンサ規格の日本案は ANNEX(normative)として掲載することが承認された。ただし、詳細内容についてはドイツ案と合体版として再編集し、ラウンドロビンをテストを実施の上、具体的な数値について詰めていくことになった。

次いで、ポケットブック改訂について討議した。調質機器関連について用語、構成、解説内容について修正が必要な部分ある旨の指摘が出され、各委員からの意見を集約し本分科会のまとめとすることとした。

次いで、JIS B 8372-2 改正について、前回に引き続き、ISO 6953-2 との対比しながら修正作業を行った。

次回開催：7月19日(木) 機械振興会館

~~~~~  
**技術調査事業**  
~~~~~

ADS 国際標準化推進委員会 (第1回)

開催日 5月9日(水)

場 所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 池尾委員長以下 16名、

事務局 藤原、宮川、大橋

議 事

1. ADS 国際標準化委員会の継続に当たって

昨年度の ISO 提案の結果を踏まえ、本年度再提案の目標のもと、組織体制も変更して活動を継続する旨の説明が藤原専務からなされた。当面、5/14 からの ISOTC131 ロンドン会議にて、ISO 規格テンプレートの①用語案、②ポンプ試験法案を基に、ロビー活動を行うことが紹介された。その後、新委員長の池尾先生から挨拶を頂戴し、引き続き質疑応答を行った。

2. 本年度大日程計画案

資料に基づいて本年度の重要案件、国際標準ドラフト作成のための作業部会の組織と役割、及び委員会、作業部会の開催日程、ISOTC131 の開催日程等を、事務局より説明した。

3. ISOTC131 再提案の進め方

資料：国際標準ドラフト作成小委員会（案）を基に、眞田主査から、WG-A～E の 5 大学で構成する作業部会のドラフト案作成方法、委員会開催予定などが説明された。

併せて企業側の作業部会（WG-X 水圧仕様技術調査委員会）について、取り組み内容と日程等を事務局より説明した。

なお、画像により ISO 規格案①②を紹介した。

4. 平成 30 年度 WG-A～E 実施計画

各大学の本年度の実施内容と概略日程集を配布した。本年度の設備の改修等の予算措置については個別に対応することとした。

次回開催：

第 2 回委員会は 7 月上旬開催を目途に調整、各作業部会は 6 月に開催する。

技術委員会空気圧部会第 547 回特許分科会

日 時 5 月 25 日（金）13：00 ～ 17：00

場 所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 細田幹事以下 4 名

事務局 吉田

議 事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。

2 件については引き続きウォッチングをしていくこととした。2 件については引き続き調査をすることとした。1 件については新たな証拠資料の発見が難しいとの意見で一致し調査を終了することとした。新たに 1 件について調査を開始することとした。

次回開催：6 月 22 日（金）西宮市立勤労会館
第 6 会議室

中小企業関連事業

第 1 回中小企業委員会 WG

日 時 5 月 9 日（水）15：00 ～ 17：00

場 所 機械振興会館 BIC ライブラリー会議室

出席者 星幹事、高野幹事以下 10 名

事務局 堀江

議 事

1. 海外研修視察について

隔年で実施している海外研修視察の場所と時期などについて、事前アンケート、旅行社概要見積りを基に幹事・事務局での事前検討結果を報告。

更に出席者と討議の結果マレーシアの日系メーカーを 10 月頃に訪問することとし、事務局にて訪問企業を絞り込むこととした。

2. H30 年度研修事業について

(1) 新入社員等若手社員等を対象とした基礎講座と (2) H29 年度に実施した油圧技能士受験講座についての進め方について討議した。(1) 基礎講座については 1 日研修の希望が多く、(2) 油圧技能士受験講座については H29 年度の実技試験対策の定員を増やす要望があり、今後事務局にて検討を詰めることとした。

工業会ニュース

☆平成 30 年 5 月より下記の会社が賛助会員として入会されました。よろしくお願ひいたします。

(賛助会員)

工機ホールディングス 株式会社

(旧社名 日立工機 株式会社)

代表取締役社長 前原 修身 殿

本社

〒108-6020

東京都港区港南 2-15-1

(品川インターシティ A 棟)

TEL：03-5783-0601

URL：<http://www.koki-holdings.co.jp>

創 立 1946 年 12 月

資本金 17,813 百万円

☆クールビズの導入について

5 月 1 日（火）～9 月 28 日（金）の間、当会主催の会議等への出席に当たっては、クールビズを

導入しますので再度ご連絡します。

なお、経済産業省においても同期間中は、クールビズを導入しておりますので再度お知らせします。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

☆6月20日(水) 標準化・技術合同委員会
(場 所) 機振会館

☆7月11日(水) 第2回中小企業委員会
(場 所) 住友精密工業(株)草津工場

☆8月1日(水) 技術講演会
(場 所) 機振会館

☆10月11日(木) 西日本支部総会
(場 所) 未定

☆10月12日(金) 西日本懇親ゴルフ会
(場 所) 未定

*平成31年

☆1月16日(水) 年始会・理事会
(場 所) 東京プリンスホテル(芝公園)

~~~~~  
5月に開催された当会各委員会に出席された  
皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(国際交流事業)

欧州建設事情(INTERMAT2018)視察団報告会

開催日 5月17日(木)

報告者

団 長 吉田 説与(KYB)

副団長 高山 稔(神威産業)

団 員 亀田 幸則(KYB)

〃 河村 茂樹(神威産業)

〃 藤井 智幸(川崎重工業)

〃 山口 貴弘(川崎重工業)

〃 川本 晃(マツイ)

〃 浅香 紀之(マツイ)

〃 山倉 理宏(TOHTO)

〃 篠崎 慎(TOHTO)

〃 宮川 弘(イハラサイエンス)

〃 富山 俊作(フジサカ化`ジ`ネアイ)

〃 藤谷 秀次(日本フルド`パ`ワ`システム学会)

添乗員 尾谷有里奈(ベストワールド)

聴講者 風戸 裕彦(アズビル TACO)

〃 北畠 多門(SMC)

〃 星 蔵貴(神威産業)

〃 肥田 一雄(川崎重工業)

〃 嶋村 英彦(川崎重工業)

〃 西海 栄一(三輪精機)

〃 梶本 一典(CKD)

〃 徳増 安則(島津製作所)

〃 松井 基幸(島津製作所)

〃 田岡 良夫(住友精密工業)

〃 澤田 啓支朗(タイヨーインタショナル)

〃 野澤 重雄(TOHTO)

〃 堀内 雄介(豊興工業)

〃 松井 正彦(マツイ)

〃 古川 清二(税理士法人ピラント)

(標準化事業/ISO対策事業)

ISO/TC131 ロンドン国際会議

開催日 5月14日(月)~5月18日(金)

出席者

委 員 眞田一志(横浜国立大学)

〃 馬場賢司(ボッシュ・レックスロス)

〃 浦井隆宏(ボッシュ・レックスロス)

〃 妹尾満(SMC)

〃 町田哲治(東京計器)

〃 大野淳一(JFPA)

油空圧継手・ホース分科会

開催日 5月24日(木)

出席者

主 査 板井淳一(横浜ゴム)

委 員 岩崎宏文(イハラサイエンス)

〃 横岡慎吾(ブリヂストン)

〃 長途登美男(東京計器)

〃 緒方征嗣(日東工器)

〃 小島研二(日本ホース金具工業会)

(標準化事業/規格事業)

JIS 原案作成本委員会

開催日 5月9日(水)

出席者

委員長 北川能(東京工業大学)

委 員 香川利春(東京工業大学)

〃 古田豊(日本規格協会)

〃 菊地治彦(東芝機械)

〃 三好真介(MORESCO)

〃 山田高志(大生工業)

〃 大塚宏行(油研工業)

空圧継手・チューブ分科会

開催日 5月23日(水)

出席者

主 査 浅里信之(ニッタ)

委員 井戸田健 (CKD)
〃 細谷映之 (アオイ)
〃 大場良太郎 (コガネイ)
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

〃 風間英朗 (日本アキュムレータ)
〃 吉見利夫 (堀内機械)
〃 浅香紀之 (マツイ)
〃 木下純夫 (三尾製作所)
〃 保坂淳一 (理研精機)

空気圧調質機器分科会

開催日 5月30日(水)

出席者

主査 國崎雄嗣 (CKD)
委員 土岐真人 (コガネイ)
〃 小田敏裕 (甲南電機)
〃 高橋隆通 (甲南電機)

(技術調査事業)

ADS 国際標準化推進委員会 (第1回)

開催日 5月9日(水)

出席者

委員長 池尾 茂 (上智大学)
顧問 山口 惇 (横浜国立大学)
委員 眞田一志 (横浜国立大学)
〃 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)
〃 吉田太志 (KYB)
〃 鳥居良介 (阪上製作所)
〃 杉村 健 (日本アキュムレータ)
〃 井口 務 (廣瀬バルブ工業)
〃 細井耕平 (堀内機械)

オブザーバー 根岸喜代春 (経済産業省)

オブザーバー 工藤 勉 (経済産業省)

オブザーバー 渡部圭次 (経済産業省)

オブザーバー 福永奈緒 (野村総合研究所)

オブザーバー 多屋早百合 (野村総合研究所)

オブザーバー 野口恵伸 (KYB)

オブザーバー 大野淳一 (JFPA)

技術委員会空気圧部会第547回特許分科会

開催日 5月25日(金)

出席者

幹事 細田一也 (CKD)
委員 井野雅康 (SMC)
〃 河野喜之 (甲南電機)
〃 今野英俊 (コガネイ)

(中小企業関連事業)

第1回中小企業委員会WG

開催日 5月9日(水)

出席者

幹事 星 蔵貴 (神威産業)
〃 高野和治 (光陽精機)
委員 森田勇一 (大生工業)
〃 松岡 勉 (タカコ)

~~~~~

#### 月間行事概要

~~~~~

<5月>

9日(水)

- ・標準(委) JIS 原案作成本委員会
- ・技術(委) ADS 国際標準化推進委員会

12日(金)

- ・技術(委) 空気圧部会

14日(月)~18日(金)

- ・ISO(委) ロンドン国際会議

17日(木)

- ・ハノーバメッセ視察団報告会
- ・第19回定時総会・臨時理事会

18日(金)

- ・第57回 JFPA ゴルフ懇親会

23日(水)

- ・標準(委) 空気圧継手・チューブ分科会

24日(木)

- ・ISO(委) 油空圧継手・ホース分科会
- ・振興対策 産機・建機合同部会

26日(金)

- ・技術(委) 空気圧部会第535回特許分科会

30日(水)

- ・標準(委) 空気圧調質機器分科会
- ・技術(委) 水圧部会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
